

〒130-0004 東京都墨田区本所1-3-7 03(3621)6171 ライオン健康保険組合

「平成21年度決算、組合会で承認」

平成22年7月23日に開催された第144回組合会において、平成21年度の事業報告及び収入支出決算報告が審議・承認されましたので、その概要をご報告致します。一般勘定は約421百万円の赤字決算、介護勘定は約13百万円の黒字決算となりました。この結果、平成21年度末の総財産は一般勘定1,561.7百万円（法定準備金606.5百万円、別途積立金954.8百万円、その他財産0.4百万円）、介護勘定101.7百万円となりました。

事業概要

健保組合を取り巻く環境は、平成20年4月から開始した新高齢者医療制度に基づく拠出金等による負担増、特定健診及び特定保健指導への対応による負担増で、財政赤字健保が9割を越えており、予断を許さない状況にあります。

当健保組合は、事業体及び被保険者の皆様のご理解とご協力のもと、健康保険料率に関しましては、21年度は67.0/1000、介護保険料率は10.0/1000と据え置いた上で、健保組合の基本である「保険給付」及び「保健事業」に重点をおいて事業を推進してきました。この結果、一般勘定の収入支出決算状況は、総収入金額2,026,405千円、総支出2,447,389千円で実質420,984千円の赤字となりました。

また、介護勘定は、総収入207,480千円、総支出194,652千円で、収入支出決算残金は12,828千円の黒字となりました。

適用状況は、被保険者が前年度より79人減少、被扶養者も同様に150人減少しました。その結果として被保険者4,653人、被扶養者を含む総加入者は9,751人（前年比97.7%）となりました。

総保険給付費は1,098,577千円で、前年度より21,201千円減少しました（前年比98.1%）。

保健事業は計画通り遂行し、主な事業は、疾病予防、健康づくり運動、保健指導宣伝（健康カンパニー、健保ニュース、健康講話等）、体育奨励事業等です。

特に、疾病予防においては、従来実施していた、健康づくりセミナー（LIS21）、ライオン歯科予防プログラム（ALOHAⅡ）、の実施、老人加入者等健康教育指導事業などに加え、特定健診・特定保健指導を対応するため、アトソシグ（三菱化学メディエンス）による家族健診の継続、婦人科健診における乳房マンモグラフィーの導入（40歳以上偶数年齢者）、被保険者に対する特定保健指導としての動機付け支援、積極的支援等を実施しました。

適用事業所につきましては、2事業所（日本化学飼料㈱、日本化学飼料㈱紋別工場）の減少により平成21年度末の事業所数は、12事業所となりました。

決 算 概 要

一般勘定における決算は、総収入 2,026,405 千円（別途積立金繰入を除く）、総支出 2,447,389 千円で、実質 420,984 千円の赤字となりました。

1. 収入面 ⇒ 予算段階では、健康保険料率据置、被保険者数減少、平均標準報酬月額を前年から若干減とし、404 千円の赤字予算を組みました。

実績としましては、業績連動型賞与により保険料収入が減少し、別途積立金繰入を除く総収入金額が 1,974,344 千円（前年度比▲198,389 千円）となりました。

2. 支出面 ⇒ 総拠出金は 1,103,171 千円（保険料収入の 58.6%）で、前年度比 71,508 千円増。内訳は前期高齢者納付金 551,008 千円、後期高齢者支援金 440,822 千円、退職者給付拠出金 110,913 千円等です。予算と比較して、保健事業費（80 百万円減）及び事務費（10 百万円減）において経費節減を行いました。

介護勘定における決算は、保険料徴収対象者数 3,022 人、総収入金額 207,480 千円、総支出金額 194,652 千円で、収入支出決算残金は、12,828 千円の黒字となりました。

収入支出決算残金処分後の財産状況を下記に示します。

平 成 2 1 年 度 末 財 産 目 録

収支決算の結果、平成 21 年度残金処分後の健康保険組合の財産は次の通りとなりました。

【一般勘定】

種 別	平成 21 年度残金処分後 (千円)
法定準備金	606,455
別途積立金	954,783
土地	0
建物	0
建築物	0
器具	250
無形固定資産	180
計	1,561,668

【介護勘定】

種 別	平成 21 年度残金処分後 (千円)
準備金	101,648
合 計	101,648

平成21年度収入支出決算(一般勘定分)

< 健保組合運営の基礎数値 > (平成 21 年 3 月～22 年 2 月平均)

平均標準報酬月額	408,162 円	被扶養者数	5,098 人
被保険者数	4,653 人	扶養率	1.10 人
平均年齢	44.29 歳		

< 収入の部 >		< 支出の部 >	
科 目	実績値 (千円)	科 目	実績値 (千円)
健康保険料収入	1,882,535	事務費	58,472
国庫負担金	867	保険給付費	1,098,577
利子収入	14,292	拠出金	1,103,171
施設利用料	6,500	保健事業費	151,975
国庫補助金収入	1,333	連合会費	862
特定健診等事業収入	23,722	雑支出	0
その他雑入	45,443		
小 計 (経常収入)	1,974,692	小 計 (経常支出)	2,413,057
調整保険料収入	34,332	財政調整事業拠出金	34,332
財政調整事業交付金	17,381		
収入合計	2,026,405	支出合計	2,447,389

平成21年度収入支出決算(介護勘定分)

< 健保組合運営の基礎数値 > (平成 21 年 3 月～22 年 2 月平均)

平均標準報酬月額	453,759 円	(介護保険料徴収対象者の平均)	
*介護保険対象者数	4,497 人	**介護保険料徴収対象者数	3,022 人
*40歳～65歳未満の被保険者及び被扶養者		**40歳～65歳未満の被保険者及び40歳未満の被保険者(但し40歳～65歳未満の被扶養者がいる人)	

< 収入の部 >		< 支出の部 >	
科 目	実績値 (千円)	科 目	実績値 (千円)
介護保険料	207,214	介護給付金	194,652
その他雑入	266	その他	0
収入合計	207,480	支出合計	194,652

保健事業報告

1. 保健指導宣伝事業

健保ニュース、健康カレンダー、医療費のお知らせ等を配布し、保険給付への理解促進と医療費適正化への啓発活動を行いました。

各事業所では、衛生講話、健康講話、健康教室、心の健康づくり指導、健康PR紙の配布等により保健衛生普及活動を行いました。

また、事業主と協同し健康管理推進委員会や事業所健保窓口担当者打合せ会の開催により、保健指導の推進・情報交換を行いました。各事業所では、衛生講話、健康講話、健康教室、心の健康づくり指導、健康PR紙の配布等により保健衛生普及活動を行いました。

2. 疾病予防事業（含む 特定健診・特定保健指導）

(1) 特定健診・特定保健指導

平成20年度に開始した生活習慣病の予防を目的とした特定健診・特定保健指導の義務化への取組みを継続して実施しました。

特定健診は40歳以上74歳以下の被保険者及び被扶養者が対象となるため、昨年度と同様従来実施していたドック健診及び家族健診を通して行いました。被保険者に対しては事業体にて実施し、一方、被扶養者及び任意継続被保険者（含む家族）に対しては外部機関（三菱化学メディエンス）への委託により行いました。また、婦人科健診の乳ガン検査では35歳以上のエコー検査とともに、40歳以上では偶数年齢対象者に乳房X線（マンモグラフィ）検査を継続して行っています。

特定保健指導については、健診データの階層化に基づき平成21年度の被保険者に対する動機付け支援を中心に実施しました。積極的支援については、本社地区の対象者に外部委託（保健教育センター及び全国訪問健康指導協会等）による試行を行いました。被扶養者への特定保健指導については平成22年度以降での実施を検討します。

(2) ライオン健康づくりセミナー（愛称 LIS21:Lion life Innovation Seminar21）

事業主と協同して、昨年に引き続き、生活習慣病予防のため35才到達被保険者を対象に「ライオン健康づくりセミナー」を行いました。平成21年度は前年同様、金土曜日の開催で、日本エアロビクスセンターにおいて1泊2日コースで3回実施し、参加者は91名でした。参加者のフォロー施策として事業体保健師による面談を実施し、受講後の健康取り組み状況把握及び継続指導を行ないました。

(3) ライオン歯科予防プログラム（愛称 ALOHAⅡ:All Lion Oral Health ActivityⅡ）

歯科健診（ライオン歯科予防プログラム）を定期健康診断の必須項目に組入れ、被保険者（任意継続被保険者を除く）を対象に、要歯科指導対象者の再受診率の向上と予防処置及び事後指導を行い、延べ4,702名が受診しました。

3. 体育奨励事業

各事業所文体サークルの協力を得て、例年と同様に多彩な行事により、家族ぐるみでの体育行事を奨励し、健康づくりを進めました。

ライオン健康保険組合からのお知らせ

● 平成 21 年 10 月から「出産育児一時金」の直接支払制度が始まりました

平成 21 年 10 月から、「出産育児一時金の医療機関への直接支払制度」が創設されました(平成 21 年 10 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日までの出産が対象となります)。

この制度では、被保険者と病院、診療所または助産所(「医療機関等」という)が出産育児一時金(家族出産育児一時金)の支給申請および受け取りにかかる代理契約を結ぶことによって、医療機関等が被保険者に代わり、出産育児一時金の支給額を限度として支給申請および受け取りを行うこととなります。

これにより、直接支払制度を利用する場合は、窓口で出産費から出産育児一時金の支給額を差し引いた額を支払うだけで済むようになります。

また、出産費が出産育児一時金の支給額に満たない場合は、差額が健康保険組合から支払われます。

● 「被扶養者(家族)の確認」にご協力をお願いいたします

厚生労働省の通達により、被扶養者(家族)の現況を確認させていただくために、事業主を通して「被保険者・被扶養者調書」をお送りしております。被保険者の皆様には、収入がある場合や年齢などに応じて必要な関係書類の添付が必要となりますので、お手数をおかけ致しますが、9 月 30 日までに提出していただきますよう宜しくご協力の程、お願い致します。

次の事項に該当した場合は、事業主を通じて、「被扶養者異動届」を当健保組合へ提出して下さい。

- ①就職が決まり会社に勤めるようになった。
- ②パート・年金等の年間収入が、60 歳未満の方は 130 万円以上(障害年金受給の方は 180 万円以上)、60 歳以上の方は 180 万円以上あるまたは見込まれる。
- ③結婚により配偶者(無収入または②の基準を超えていない)ができた。
- ④お子様が生まれた
- ⑤75 歳(一定の障害のある方は 65 歳)になったとき⇒後期高齢者医療制度に加入します

尚、18 歳以上のお子様(高校生は除く)は収入の有無にかかわらず、収入に関する資料(収入のある方:課税証明書又は雇用先での年間収入を証明した書類、収入のない方:非課税証明書)を提出して下さい。

ライオン健康保険組合からのお知らせ

● 平成 22 年度家族健康診断のご案内について

当健康保険組合は、35 歳以上に加え、40 歳以上から 75 歳未満の被扶養者および任意継続被保険者の方を対象に、家族健康診断が受診しやすい体制づくりを進めております。

平成 22 年度の家族健康診断につきましては、平成 21 年度同様に、外部機関「三菱化学アイエヌ株式会社 健康検診事業部」に“健診のご案内”から健診後の“健診結果”把握等の業務代行を委託しています。健診受診対象者の方々には、6 月下旬に“健診のご案内”を直接お送りいたしました。

今年是一部健診機関への予約集中を解消するため、ご本人が健診機関に直接電話予約する制度を追加しました。まだ、受診されていない方も積極的に受診していただきますよう、よろしく願い申し上げます。

● 健康保険証がカードに変わりました

ライオン健康保険組合は平成 21 年度 10 月より健康保険証をカード化し、被保険者とその被扶養者に一人一枚ずつ交付しています。

なお、カード化に伴い個人単位の保険証となりましたが、単身赴任やお子様の進学などで、被保険者本人とご家族が離れて暮らすときは、従来と同様被保険者または該当する被扶養者の住所変更が必要です。これまで遠隔地申請に代わり、＜別居・同居申請書＞の提出が必要となりますので、よろしく願いいたします（転勤マニュアルにも記載）。

また、カード化以降の紛失状況は、現在のところ微増レベルとなっています。しかしながら、これまでは家庭内での紛失が多かったのに対し、カードでは家庭外紛失が増加していますので、より一層ご注意ください、お願いします。

● レセプトの電子化について

医療機関が作成する診療報酬明細書（レセプト）について、本年 5 月より支払基金から電子ファイルで受領し、処理しています。これは平成 23 年度からのレセプト原則オンライン化に対応するもので、医療費の削減を目的としています。さらに、一歩進めて年内にはオンラインにて受領することを検討しております。

ライオン健康保険組合からのお知らせ

● 医療費削減及び医療提供体制の向上に関して

①診療時間内に受診しましょう

休日・深夜に開いている救急医療機関は、緊急性の高い患者を受け入れるためのものです。また、時間外の受診には、割増し料金がかかります。急病のときなど、やむえない場合を除き、なるべく診療時間内に受診するようにしましょう。

②ハシゴ受診はやめましょう

かかりつけの医師を持ち、気になることはまずかかりつけの医師に相談しましょう。また、同じ病気で複数の医療機関を受診することは、医療費の増加だけでなく、重複する検査や投薬によりかえって身体に悪影響を与える心配もあります。今の治療に不安があるときはその旨を伝えて話し合ってみましょう。

③薬の飲み合わせに注意しましょう

薬は飲み合わせによっては、副作用を生じることがあります。お薬手帳の活用などにより、既に処方されている薬を医師や薬剤師に伝え、飲み合わせには注意しましょう。

④ジェネリック医薬品を使いましょう

ジェネリック医薬品（後発医薬品）は、これまで薬効や安全性が実証されてきた先発医薬品と同等と厚生労働省が認めた低価格な医薬品です。ジェネリック医薬品を選択することにより、薬代の負担が軽減できるだけでなく、国の医療費の節減、医療保険財政の改善にもつながります。

⑤健康管理・健康づくりを心掛けましょう。

生活習慣病は慢性化して治りにくく、長期の治療が必要になり、医療費も多くかかります。日頃から、栄養・休養・運動のバランスのとれた生活を送り、健康づくりを心掛けましょう。

● 【事務局メンバー】

平成 22 年 8 月現在の健保組合の事務局は下記の 4 名です。どうぞ宜しくお願い致します。

事務長(代理)：鈴木 隆久
書 記：城 高史
書 記：小竹比呂志
書 記：野村ゆり子

ライオン健康保険組合 ☎03-3621-6171